

樹脂材料の耐熱性評価のご案内

ボールプレッシャー温度試験

電気用品の固体絶縁材料に用いられる熱可塑性樹脂の耐熱性評価の一つとして、ボールプレッシャー温度試験(BPT:Ball Pressure Temperature)があります。

また、ボールプレッシャー温度試験は、IEC(国際電気標準会議)及び電気用品安全法に取り上げられている熱可塑性樹脂材料の軟化温度の測定方法となっています。

試験概要

油槽中で、試験片を球状の圧子(5 mmφ)により、20Nを1時間負荷し、試験片のへこみの直径が2 mm(へこみの深さに換算すると0.209 mm)に近い温度を数点測定し、グラフからボールプレッシャー温度(単位:°C)を求めます。

また、規定の温度で同様の試験を行い、へこみの直径及び深さを求める場合もあります。

適用規格

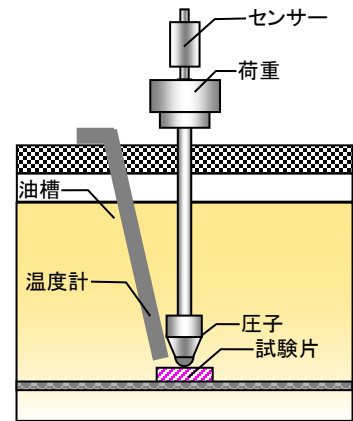
IEC 60695-10-2 B法
電気用品安全法

装置仕様

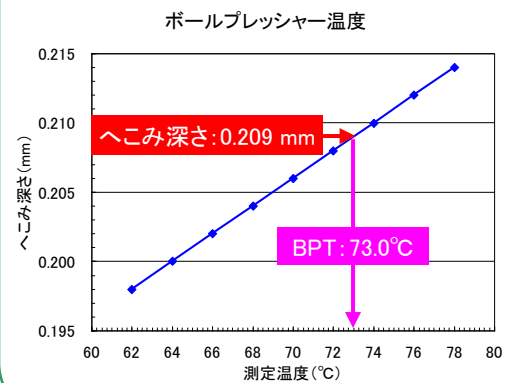
装置名称:HDT試験装置 S6-MH
(株)東洋精機製作所製
温度範囲:常温~300°C
試料個数:1~6個(同一槽)



試験装置



試験装置機構図



本機構は、樹脂製品を切削加工し、試験片作製~試験まで一貫して行うことが可能です。

CERI 一般財団法人 化学物質評価研究機構
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

名古屋事業所

〒466-0858 愛知県名古屋市昭和区折戸町4-1

TEL:052(761)1185 FAX:052(762)6055

URL <https://www.cerij.or.jp>